

津山工業高等専門学校	開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	英語 I
科目基礎情報				
科目番号	0009	科目区分	一般 / 必修	
授業形態	講義	単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	総合理工学科(電気電子システム系)	対象学年	1	
開設期	通年	週時間数	2	
教科書/教材	教科書：石川慎一郎ほか著 Big Dipper: English Communication I（数研出版）・その他：ベーシックノート（教科書専用）, Listening Laboratory Basic（四訂版）（数研出版）, 音声CD, A4サイズのパファイル（2つ穴）, 電子辞書			
担当教員	山口 裕美,堀 秀暢			
到達目標				
学習目的：4技能（聴き・読み・書き・話す）をバランスよく養成する。				
到達目標： 1・英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけ、自分や身近なことについて理解したり伝えたりすることができる。 2・高等学校指導要領に示されているレベルの文法事項や構文語彙を習得しコミュニケーションに利用することができる。 3・英文を正しい区切りやイントネーションで音読することができる。 4・本文の要旨を英語または日本語でまとめることができる。 5◎・コミュニケーションツールとしての口述、記述、図表などの特徴をあげることができる。				
ルーブリック				
	優	良	可	不可
評価項目1	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけ、自分や身近なことについて理解したり伝えたりすることが十分できる。	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけ、自分や身近なことについて理解したり伝えたりすることができる。	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけ、自分や身近なことについて理解したり伝えたりすることが最低限できる。	英語で積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を身につけ、自分や身近なことについて理解したり伝えたりすることができない。
評価項目2	高等学校指導要領に示されているレベルの文法事項や構文語彙を習得しコミュニケーションに利用することが十分できる。	高等学校指導要領に示されているレベルの文法事項や構文語彙を習得しコミュニケーションに利用することができる。	高等学校指導要領に示されているレベルの文法事項や構文語彙を習得しコミュニケーションに利用することが最低限できる。	高等学校指導要領に示されているレベルの文法事項や構文語彙を習得しコミュニケーションに利用することができない。
評価項目3	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することが十分できる。	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することができる。	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することが最低限できる。	英文を正しい区切りやイントネーションで音読することができない。
評価項目4	本文の要旨を英語または日本語でまとめることが十分できる。	本文の要旨を英語または日本語でまとめることができる。	本文の要旨を英語または日本語でまとめることが最低限できる。	本文の要旨を英語または日本語でまとめることができない。
評価項目5	コミュニケーションツールとしての口述、記述、図表などの特徴をあげることが十分できる。	コミュニケーションツールとしての口述、記述、図表などの特徴をあげることができる。	コミュニケーションツールとしての口述、記述、図表などの特徴をあげることができる。	コミュニケーションツールとしての口述、記述、図表などの特徴をあげることができない。
学科の到達目標項目との関係				
教育方法等				
概要	一般・専門の別：一般 学習の分野：英語 基礎となる学問分野：英語学・英米 / 英語圏文学・言語学・音声学 学習教育目標との関連：本科目は「①教養豊かな実践的人間力の養成」，「⑤グローバルな視点と社会性の養成」，「⑦コミュニケーション力・プレゼンテーション力の育成」に相当する科目である。 授業の概要：検定教科書の様々な分野の英文を用いて、内容理解をおこなったうえで、音読や簡単な作文といったアウトプット（話す・書く）活動を実施する。 また、その基盤となるインプット（語彙・文法力）活動を実施する。			
授業の進め方・方法	読解・音読のために、英文の区切りを見つける練習をおこなう。リスニング、読解による内容理解の後、音読練習や要旨作成などの活動をおこなう。 授業冒頭にリスニングの訓練をおこなう。また、語彙力を身につける訓練をおこなう。 発音をアプリでチェックするためBYODのPCを使用する場合がある。 適宜、英語活動を行う。 ベーシックノートを用いた予習を必須とする。 成績評価方法：前期中間試験から後期中間試験までは、定期試験の結果を平均して評価する（60％）。定期試験の結果に加え、平素の小テスト・課題・授業ノートなど（40％）を総合して成績評価をおこなう。 年度末の成績評価は、後期末試験まで加え、上記の方法で算出された結果を90％に換算し、GTECの結果（リーディング・リスニング）を10％加えて評価する。 試験には教科書・ノートの持込みを許可しない。 再試験は実施しない。積極的に授業に参加すること。			
注意点	履修上の注意：本科目は学年の課程修了のために履修（欠課時間数が所定授業時間数の3分の1以下）が必須である。 履修上のアドバイス：「事前におこなう準備学習」として予習をおこなうこと。また復習・課題を指示するので必ず取り組むこと。GTECを必ず受験すること。 基礎科目：中学校での学習事項・英語表現I（1年） 関連科目：英語II（2）・英語表現II（2）・英語III（3）・英語IV（4）・国際英語論I（4）・コミュニケーション学I（4）・国際英語論II（4）・コミュニケーション学II（4）・英語V（5） 受講上のアドバイス：積極的に授業に参加すること。講義ならびに音読や英作文の活動は、運用能力向上のための基礎となる。そのため、必ず、教科書・予習ノート・英和辞書・和英辞典を持参し、予習や課題に取り組んだうえで授業に臨むこと。後期中間試験前に実施されるGTECを必ず受験すること。英検などの資格・検定試験を積極的に受験することが望ましい。 遅刻について：授業開始5分すぎでの入室は欠課扱いとする。			

授業の属性・履修上の区分				
☐ アクティブラーニング		☒ ICT 利用		☒ 遠隔授業対応
☐ 実務経験のある教員による授業				
必履修				
授業計画				
前期	1stQ	週	授業内容	週ごとの到達目標
		1週	ガイダンス（予習・復習など学習法の説明，受講上の注意）・多読資料の紹介	年間を通じての学習方法を理解し、学習計画の見通しを立てる。
		2週	Lesson 1 Part 1	朝食の大切さ、理想的な朝食について書かれた英文が理解できる。 英語の時制を理解し、活用する。
		3週	Lesson 1 Part 2	朝食の大切さ、理想的な朝食について書かれた英文が理解できる。 現在完了形・現在進行形を理解し、活用する。
		4週	Lesson 1 Part 3	朝食の大切さ、理想的な朝食について書かれた英文が理解できる。 命令文を理解し、活用する。
		5週	Lesson 2 Part 1	町おこしのキャラクターの役割について書かれた英文が理解できる。SVC・SVOを理解し、活用する。
		6週	Lesson 2 Part 2	町おこしのキャラクターの役割について書かれた英文が理解できる。不定詞（名詞的・副詞用法）を理解し、活用する。
		7週	Lesson 2 Part 3	町おこしのキャラクターの役割について書かれた英文が理解できる。 動名詞を理解し、活用する。
	8週	前期中間試験	現時点の英語力を確認する。	
	2ndQ	9週	前期中間試験返却と解説 Lesson 3 Part 1	前期中間試験までの振り返りと今後の学習目標を立てる。 リーダーシップについて書かれた英文が理解できる。 受動態を理解し、活用する。
		10週	Lesson 3 Part 2	リーダーシップについて書かれた英文が理解できる。 関係代名詞を理解し、活用する。
		11週	Lesson 3 Part 3	リーダーシップについて書かれた英文が理解できる。 SV00・SVOCを理解し、活用する。
		12週	Lesson 5 Part 1	芸術の世界にまで進出するAIについて書かれた英文が理解できる。 名詞を修飾する分詞を理解し、活用する。
		13週	Lesson 5 Part 2	芸術の世界にまで進出するAIについて書かれた英文が理解できる。 It that構文を理解し、活用する。
		14週	Lesson 5 Part 3	芸術の世界にまで進出するAIについて書かれた英文が理解できる。 It to構文を理解し、活用する。
		15週	前期末試験	現時点の英語力を確認する。
16週		前期末試験の返却と解説・夏休みの課題説明	前期末試験までの振り返りと今後の学習目標を立てる。	
後期	3rdQ	1週	夏休み課題テスト Lesson 6 Part 1	課題実施の成果をテストにより確認する。 世界の人々の「幸福度」の違いについて書かれた英文が理解できる。 完了・結果を理解し、活用する。
		2週	Lesson 6 Part 2	世界の人々の「幸福度」の違いについて書かれた英文が理解できる。について書かれた英文が理解できる。 関係副詞whereを理解し、活用する。
		3週	Lesson 6 Part 3	世界の人々の「幸福度」の違いについて書かれた英文が理解できる。 関係副詞whenを理解し、活用する。
		4週	Lesson 7 Part 1 GTEC対策 1	人気の観光地が抱える問題について書かれた英文が理解できる。 知覚動詞 + 原形不定詞を理解し、活用する。
		5週	Lesson 7 Part 2 GTEC対策 2	人気の観光地が抱える問題について書かれた英文が理解できる。 使役動詞を理解し、活用する。
		6週	Lesson 7 Part 3 GTEC対策 3	人気の観光地が抱える問題について書かれた英文が理解できる。 SVO + to不定詞を理解し、活用する。
		7週	Lesson 7 Part 4 GTEC対策 4	人気の観光地が抱える問題について書かれた英文が理解できる。 知覚動詞 + 現在分詞を理解し、活用する。
		8週	後期中間試験	現時点の英語力を確認する。
	4thQ	9週	後期中間試験返却と解説 Lesson 8 Part 1	後期中間試験までの振り返りと今後の学習目標を立てる。 世界的な特殊メイクアップアーティストについて書かれた英文が理解できる。 関係副詞howを理解し、活用する。
		10週	Lesson 8 Part 2（冬休み課題，詳細は別途指示する）	世界的な特殊メイクアップアーティストについて書かれた英文が理解できる。 関係代名詞whatを理解し、活用する。

		11週	冬休み課題テスト Lesson 8 Part 3	課題実施の成果をテストにより確認する。 世界的な特殊メイクアップアーティストについて書かれた英文が理解できる。 関係副詞whyを理解し、活用する。
		12週	Lesson 8 Part 4	世界的な特殊メイクアップアーティストについて書かれた英文が理解できる。 強調構文を理解し、活用する。
		13週	Lesson 10 Part 1, 2	日本の社会における雇用の多様性について書かれた英文が理解できる。 仮定法過去・分詞構文を理解し、活用する。
		14週	Lesson 10 Part 3, 4	日本の社会における雇用の多様性について書かれた英文が理解できる。 過去の習慣・助動詞 + be + 過去分詞を理解し、活用する。
		15週	後期末試験	現時点の英語力を確認する。
		16週	後期末試験の返却と解説	1年間の振り返りと今後の学習目標を立てる。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文社会科学	英語	英語	聞き手に正しく伝わるよう、語・句・文における強勢、文におけるリズム・イントネーション、音のつながり・区切りを意識しながら明瞭に音読あるいは発話できる。	1	
				中学校までに学習した語彙の定着を図り、高等学校指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な語彙を習得して適切に運用できる。	1	
				中学校までに学習した文構造及び文法事項に加え、高等学校学習指導要領に準じた文構造及び文法事項について習得して適切に運用できる。	1	
				日常的な話題や社会的な話題について、はっきりとした発音で、調整された速さで話された内容から、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握できる。	1	
				日常的な話題や社会的な話題について、基本的な表現を用いて、情報や考え、気持ちなどを話すことができる。	1	
				日常的な話題や社会的な話題について平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握して必要な情報を読み取り、書き手の意図、概要や要点を把握できる。	1	
				日常的な話題や社会的な話題について、自分の意見や感想を整理し、情報や考え、気持ちなどを伝える文章を書くことができる。	1	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢を持ち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	1	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略（ジェスチャー、アイコンタクト）を適切に用いることができる。	1	
				自分の専門分野などの予備知識のある事柄や関心のあるトピックについて、話の展開や話者の意図に注意しながら必要な情報を聞き取り、概要や要点を把握できる。	1	
				英語でのディスカッション（必要に応じてディベート）を想定して、意見や主張、課題の解決策などをやり取りできる。	1	
				英語でディスカッション（必要に応じてディベート）を行うため、学生自ら準備活動や情報収集を行い、主体的な態度で行動できる。	1	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。	1	
				関心のあるトピックについて、意見や主張を適切な理由や根拠とともに伝える複数の段落を書くことができる。	1	
				自分の専門分野に関する口頭発表などを念頭に置き、関心のあるトピックについて、平易な英語でのプレゼンテーションや内容に関する簡単な質疑応答のやりとりができる。	1	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。	1	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。	1	
	工学基礎	グローバル化・異文化多文化理解	グローバル化・異文化多文化理解	異文化、多文化について説明できる。	1	
				多様性の概念及びその重要性を説明できる。	1	
				グローバル化の進展により生じた産業、経済、政治への影響及びグローバル化と科学技術との相互作用を説明できる。	1	
				技術者としてグローバルに活動する際に求められる知識、資質、能力について説明できる。	1	

評価割合

	試験	発表	自己評価	態度	課題	小テスト	合計
総合評価割合	60	0	0	0	30	10	100
基礎的能力	50	0	0	0	30	10	90
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	10	0	0	0	0	0	10